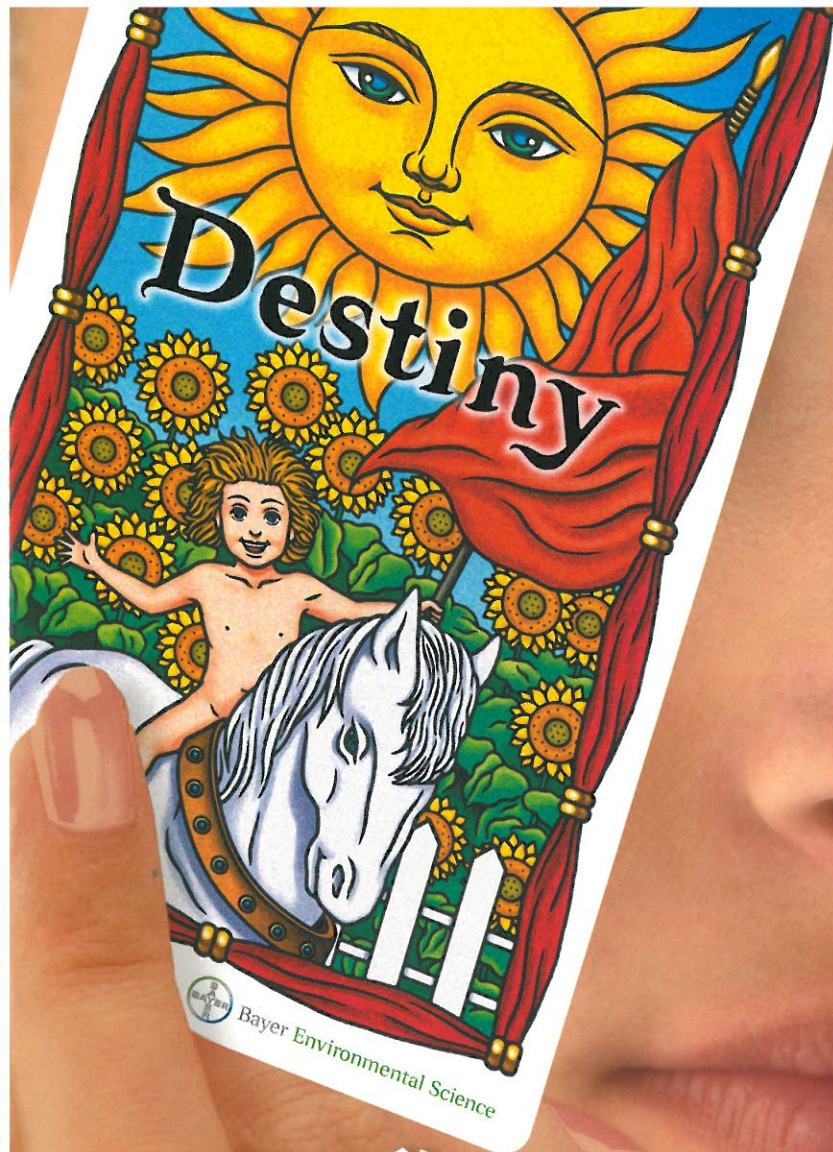




私は運命を選ぶ。

デステイニー

新発売

芝専用除草剤

デステイニー[®]WDG

農林水産省登録 第21952号

キク科などの広葉雑草+α、これで解決。



Bayer Environmental Science

広葉雑草の悩みを断つ、 デスティニーWDGの除草効果。

キク科、マメ科、カタバミなど幅広い広葉雑草に卓越した除草効果を発揮します。
使用適期が広いので、ゆとりのある防除計画が組めます。



デスティニーWDG殺草スペクトラム

(日本植物調節剤研究協会委託試験結果及び社内試験結果より)

科名	和名	発生前処理		発生初期 (3葉期まで)	
		0.015g/㎡	0.02g/㎡	0.015g/㎡	0.02g/㎡
キク科	アレチノギク	●	●	●	●
	ウラジロチチコグサ	●	●	●	●
	オオアレチノギク	●	●	●	●
	オニタビラコ	●	●	●	●
	オニノゲシ	●	●	—	—
	セイタカアワダチソウ	●	●	●	●
	セイヨウタンポポ	—	●	○	●
	タビラコ	●	●	●	●
	チチコグサ	●	●	●	●
	チチコグサモドキ	●	●	●	●
	トキンソウ	○	●	◎	●
	ニガナ	—	◎	—	—
	ノゲシ	●	●	●	●
	ノボロギク	◎	●	—	—
	ハキダメギク	●	●	—	●
	ハハコグサ	●	●	◎	●
	ハルジオン	●	●	●	●
	ヒメジョオン	●	●	◎	●
	ヒメムカシヨモギ	●	●	●	●
	ブタナ	—	●	—	●
アブラナ科	マメカミツレ	●	●	●	●
	ヨモギ	●	●	●	●
	イヌガラシ	●	●	○	◎
アブラナ科	タネツケバナ	●	●	●	●
	ナズナ	●	●	●	●
アカザ科	シロザ	—	—	●	●
ゴマノハグサ科	オオイヌノフグリ	●	●	●	●
	トキワハゼ	●	●	—	—
	マツバウンラン	—	●	—	—
ゴマノハグサ科	ムラサキサギゴケ	—	—	●	●
	スベリヒユ科	●	●	●	●
ナデシコ科	オランダミミナグサ	●	●	●	●
	ツメクサ	●	●	●	●
	ハコベ	◎	●	○	●
ミミナグサ	ミミナグサ	●	●	◎	●
	ヘビイチゴ	—	—	—	●
ヒユ科	イヌビユ	●	●	—	○
オオバコ科	オオバコ	○	●	○	●
	ヘラオオバコ	—	—	—	◎
トウダイグサ科	オオニシキソウ	—	●	—	—
	コニシキソウ	◎	●	●	●
ベンケイソウ科	コモチマンネン	—	—	◎	●
タデ科	ヤナギタデ	●	●	●	●
	ギシギシ	●	●	○	◎
ザクロソウ科	ザクロソウ	●	●	◎	●
マメ科	アカツメクサ	—	—	—	●
	ウマゴヤシ	●	●	●	●
	カラスノエンドウ	●	●	●	●
	コメツツメクサ	—	—	—	●
	シロツメクサ	●	●	●	●
カタバミ科	ヤハズソウ	△	△	—	—
	カタバミ	◎	●	●	●
セリ科	オオチドメ	—	—	—	◎
	チドメグサ	●	●	○	●
カヤツリグサ科	カヤツリグサ	●	●	—	—
	ハマスゲ	×	△	×	×
イネ科	ヒメクグ	—	—	△	△
	スズメノカタビラ	○	○	◎	◎

●：十分な効果 ◎：高い効果 ○：効果あり △：効果不十分 ×：効果なし —：未実施，試験中

日本芝に対する影響

芝種	試験機関	試験年	薬量 g/㎡ (水量 ml/㎡)	散布時の 芝の状態	芝への影響
ノシバ	社内試験	H15	0.08 (200)	生育期	生育期
	東日本グリーン研究所	H14	0.08 (200)	休眠始め	なし
コウライシバ	社内試験	H13	0.08 (200)	生育期	なし
	東日本グリーン研究所	H14	0.08 (200)	休眠始め	なし

緑化樹木に対する影響

	土壌処理 (0.01g/㎡) 薬害及び症状 *	茎葉処理 (0.0001g/㎡) 薬害及び症状 *
スギ	ナシ	ナシ
マツ	ナシ	ナシ
サツキ	ナシ	ナシ
ツバキ	ナシ	ナシ
イチョウ	ナシ	ナシ
サクラ	ナシ	ナシ
ウメ	ナシ	ナシ
ベニカナメ	ナシ	ナシ
ピラカンサス	ナシ	ナシ
キョウチクトウ	ナシ	ナシ
ツゲ	ナシ	ナシ
マサキ	ナシ	ナシ
アジサイ	ナシ	ナシ
ネズミモチ	ナシ	ナシ
アラカシ	ナシ	ナシ
フジ	ナシ	ナシ
クサボケ	ナシ	ナシ

*ドリフトを想定した薬量

社内試験より抜粋

デスティニーWDGの残効性

秋処理で120日以上効果が持続します。

0.02g/m²処理で、幅広い草種に安定した残効が期待できます。

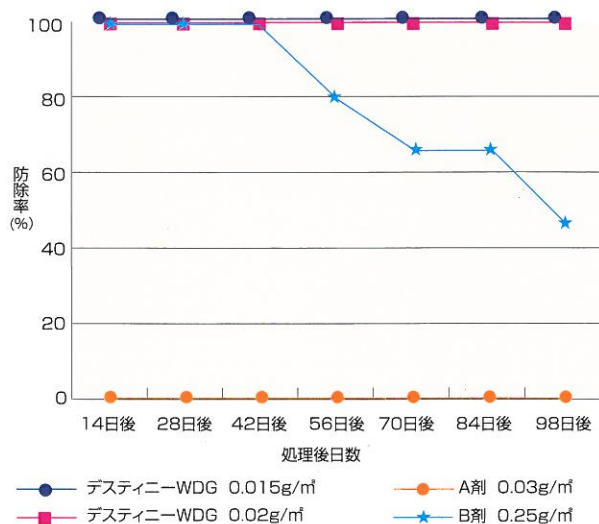


(日本植物調節剤研究協会委託試験結果及び社内試験結果より)

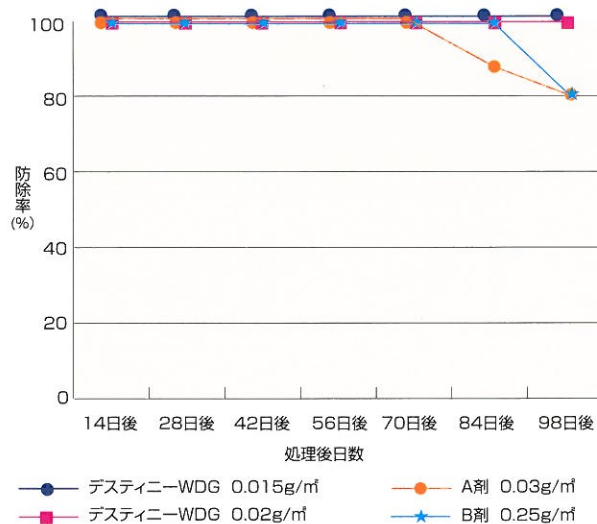
試験機関	処理日	調査日	試験期間	処理量(g/m ²)	キク科					アブラ科	ナデシコ科		ゴマノハグサ科		マメ科	
					オオアレチノギク	オフゲシ	ハルシオン	オオタビコ	マメカミシレ	タネツケバナ	オンタビミナクサ	ハコヘ	オオイヌノフグリ	タチヌノフグリ	シロツメクサ	ウツロヤシ
東日本グリーン研究所 芝種類：コウライシバ 土壌条件：埴壌土 散布水量：200ml/m ²	H13.10.3	H14.3.13	161日	0.015	●					●	●					
				0.020	●					●	●		●			
宇都宮大学 芝種類：コウライシバ 土壌条件：軽壤土 散布水量：200ml/m ²	H13.12.3	H14.4.5	123日	0.015		●	●				●			●		
				0.020		●	●				●			●		
東日本グリーン研究所 芝種類：コウライシバ 土壌条件：埴壌土 散布水量：200ml/m ²	H14.10.10	H15.3.11	152日	0.015	●					●	●		●			
				0.020	●					●	●		●			
西日本グリーン研究所 芝種類：コウライシバ 土壌条件：砂壤土 散布水量：200ml/m ²	H14.10.11	H15.2.3	115日	0.015					●		●		●			●
				0.020					●		●		●			●
北陸草地・環境研究所 芝種類：コウライシバ 土壌条件：埴壌土 散布水量：200ml/m ²	H15.10.19	H16.3.19	152日	0.015							●	●			●	
				0.020							●	●			●	
東日本グリーン研究所 芝種類：ノシバ 土壌条件：壤土 散布水量：200ml/m ²	H15.10.1	H16.2.16	138日	0.015	●			●			●					
				0.020	●			●			●					
西日本グリーン研究所 芝種類：ノシバ 土壌条件：砂壤土 散布水量：200ml/m ²	H15.10.5	H16.3.24	171日	0.015					●		●					
				0.020					●		●					

●：十分な効果 ◎：高い効果 ○：効果あり △：効果不十分 ×：効果なし —：未実施、試験中

ウラボリチチコグサに対する効果



アオビユに対する効果



処理日：平成13年10月5日

試験機関：西日本グリーン研究所

デスティニーWDGを用いた上手な雑草管理



イネ科雑草用の除草剤(フルハウスフロアブルなど)との
組合せで 更に幅広い殺草スペクトラムが得られます。

デスティニーWDGとイネ科除草剤との組み合わせによる処理例

無処理区



デスティニーWDG + フルハウスフロアブル
との組み合わせ



社内試験 処理日 10月3日 調査 3月29日 (177DAA)

秋のデスティニーWDG処理例(コウライシバ)

無処理区

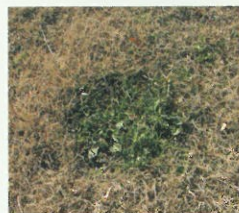
デスティニーWDG
処理区

2005年 11月2日

処理時に発生していた雑草
●タネツケバナ
●ナズナ
●オランダミミナグサ



2005年 12月19日
(処理47日後)



2006年 3月29日
(処理147日後)



幅広い除草スペクトラムと長い残効性。 ゆとりのある防除計画で、 芝の管理をスムーズに。

特 長

◆ 幅広い除草スペクトラム

- タンポポ、オオアレチノギク、ウラジロチチコグサ、チチコグサモドキ、ハハコグサ、ヒメムカシヨモギ、ブタナ、ニガナなどの幅広いキク科雑草に。
- オオイヌノフグリなどゴマノハグサ科雑草に。
- シロツメクサ、カラスノエンドウなどマメ科雑草に。
- その他、カタバミ、タデ科、ナデシコ科、アブラナ科など幅広い雑草に高い効果を示します。

◆ 幅広い使用適期幅

雑草発生前から雑草発生初期(3葉まで)と使用できる時期が広いので余裕をもった防除計画を組むことができます。

◆ 低い薬量で長い残効性

m²当りの使用量が0.015から0.02g(10アール当たり15gから20g)と低く、秋散布で120日以上長い期間広葉雑草の発生を抑えます。

◆ 使いやすい製剤と包装

作業時の粉立ちが少なく水に溶けやすい製剤です。

包装は100gなので、1000リットルタンクに1袋分投入することで5000m²散布することができます(m²当たり0.02gの製剤を水量200mlで散布した場合)。



芝の運命をわける除草力、
デスティニー誕生!

■ デスティニーWDGの一般的性状

性状: 淡褐色水和性微粒及び細粒

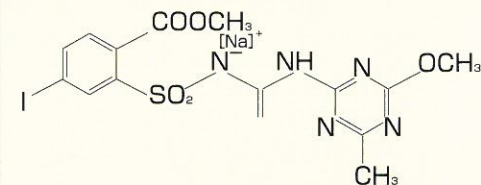
農薬の種類: ヨードスルフロンメチルナトリウム塩水和剤

有効成分の化学名及び含有量:

メチル=4-ヨード-2-[3-(4メトキシ-6-メチル-1,3,5-
トリアジン-2-イル)

ウレイドスルホニル]安息香酸, ナトリウム塩…10%

構造式



● 人畜毒性: 普通物

急性毒性	ラット 経口♂♀	LD ₅₀ >5,000 mg/kg
	ラット 経皮♂♀	LD ₅₀ >5,000 mg/kg
	ラット 吸入♂♀	LC ₅₀ >1.951 mg/L

● 水産動物への影響

コイ	LC ₅₀	117mg/L (96時間)
オオミジンコ	EC ₅₀	16.4mg/L (48時間)
藻類	EcC ₅₀	31μg/L (72時間)

● 作用機作

雑草の莖葉部、根部から吸収され、バリン、ロイシン、イソロイシンなどアミノ酸の生合成に関与するアセトラクテート合成酵素を阻害すると推定されます。その結果、対象雑草の生命に不可欠な正常な蛋白合成ができなくなり、生育が停止し、やがて枯死すると考えられます。

■ 適用と使用方法

作物名	適用雑草名	使用時期	10アール当たり		本剤の 総使用回数	使用方法	ヨードスルフロンメチル ナトリウム塩を含む農薬 の総使用回数
			薬量(g)	希釈水量(ℓ)			
日本芝	一年生広葉雑草	雑草発生前 ～発生初期	15～20	200～300	2回以内	全面散布	2回以内

⚠ 効果・薬害等の注意

- 草の3葉期までに有効なので時期を失ないように散布する。
- イネ科雑草、カヤツリグサ雑草には効果が劣るので、イネ科雑草、カヤツリグサ雑草の優先する圃場ではこれらに有効な薬剤と組み合わせて使用する。
- 本剤の使用により、芝に黄変を生じることがあるが、1～2週間で回復し、その後生育には影響を与えない(薬害)。
- 芝生の中にある草花や花木、畑作物など周辺作物に薬液がかからないように散布する(薬害)。
- 散布に用いた器具類は、使用後できるだけ早く水で十分洗っておき、他の用途に使用する場合薬害の原因にならぬよう注意する。
- 使用量、使用時期、使用方法などを誤らないように注意し、特に始めて使用する場合には、病害虫防除所等関係機関の指導を受けることが望ましい。

⚠ 安全使用上の注意

- 誤飲などのないよう注意する。誤って飲み込んだ場合は吐き出させ、直ちに医師の手当てを受けさせる。
- 眼に入らないよう注意。眼に入った場合には直ちに水洗し眼科医の手当てを受ける(刺激性)。
- 散布時は農薬用マスク、手袋、長ズボン・長袖の作業衣などを着用し、作業後は直ちに手足、顔などを石けんでよく洗い、洗顔・うがいをする。
- 公園等で使用する場合は、散布中及び散布後(少なくとも散布当日)に小児や散布に関係のない者が散布区域に立ち入らないよう縄囲いや立て札を立てるなど配慮し、人畜等に被害を及ぼさないよう注意を払う。
- 使用残りの薬剤は必ず安全な場所に保管する。

⚠ 保管

- 密封し、直射日光をさけ、冷蔵・乾燥した所。

●使用前にはラベルをよく読んでください。●ラベルの記載内容以外には使用しないでください。●本剤は小児の手の届くところには置かないでください。

※空容器は圃場に放置せず、環境に影響のないように適切に処理してください。

取扱店

バイエルクロップサイエンス株式会社
エンバイロサイエンス事業本部

〒100-8262 東京都千代田区丸の内1-6-5
www.bayercropscience.co.jp

(EL3-18)19.8.NY 印刷:平成19年8月